

発行所 〒102-0083  
 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル内  
 公益社団法人日本海洋少年団連盟  
 電話 03(5213)4778  
 (年6回奇数月の1日)  
 購読料 1部10円(送料実費)  
 会員会費には購読料が含まれる  
 振替東京 5-13846番



### ちかい

1. 海のような広い心で団結し すべての人を友とします。
2. からだをきたえ、心を養い 立派な海の子になります。

## 国際海洋少年団協会 (ISCA) 総会に出席

今年度の ISCA 国際会議はスウェーデンの首都ストックホルムで、10月10日(木)～10月13日(日)までの4日間行われた。

スウェーデンのアンニカ女史の歓迎の挨拶の後、自己紹介や春に逝去されたドイツのデットマー氏への黙祷を行った。例年のように前回の会議の承認や海洋少年団活動の報告や事故への対応、PRビデオの作成等について提案があった。今回はカリブ海のバルバドス海洋少年団から入会希望があり、プレゼンテーション後の投票で、全会一致で入会が承認された。新しく仲間が増えたことはうれしいが、インド、ジンバブエ、南アフリカ等が今回参加していないのは残念であった。また各国の国際交流の発表では、日本は持参したアンケート



結果を基にしたパワーポイントに沿った資料を全員に配布し説明を行った。今年の日本での国際交流に参加した国には写真集を配布した。

相互討議では来年の交流でカナダと今後の交流の視点からオーストラリアと話し合いを持った。プレゼンテーションではペンタンのぬいぐるみが今年も大変喜ばれた。そして来年の開催地である韓国からのプレゼンテーションがあり幕を閉じた。

会議以外ではカールバーグの軍施設で団員の英語によるデイベートの様子や、海洋少年団経験者がいて、機雷の除去をしているベルガ海軍基地を訪問し話を伺った。どちらの施設に入るのにも厳しいパスポート検査があった。



(国際委員会委員長兼 事務局長・南勢団团长 橋川 玄)

レディースプログラムに参加して今年度の国際会議はスウェーデンのストックホルムで行われました。

私達夫人は会議の初日に少し参加し、その後は昼食のご招待を受けたスウェーデン海洋少年団会長宅へ伺い、ご夫人の手料理で伝統的なスウェーデン料理・



蒸した鮭とマッシュポテトそして野菜サラダを頂きました。

参加されたご夫人方の会話は全て英語です。うにと食事をゆっくり味わうという感じではありませんでした。私は毎年国際会議ではご夫人方と少しでもお話をしたいと理解しようという気持ちです。特にスウェーデンのご夫人とは長く仲良くさせて頂いていただきますので会議が終わった翌日にご自宅に招待を受けました。

スウェーデン人は古い物や家具を大切に使い続けると聞いていましたが、1800年代の家具が部屋に置かれて使われていました。日本のもったいない精神に通じる思いがしました。(橋川 裕子)

### 国際交流 招請事業

#### 〜海洋少年団全国大会に合わせ来日〜

令和元年の国際交流は、8月2日～10日、9日間の日程で行われ、イギリス6名、カナダ5名、アメリカ3名、香港6名が集まり(4か国合わせ、指導者5名、団員15名)日本からは橋川国際委員長以下指導者クラス7名、準指導者2名、団員5名が参加し、総勢34名で行われました。

2日は集合日、3日は、海洋少年団全国大会の開会式に参列、ローブワークにも挑戦しました。友情の集いでは、少林寺拳法の護身術も試してみました。4日はカッターを漕ぎ、閉会式に臨みました。

5日は、秋葉原と浅草の浅草寺を訪れ日本の現代とお寺の伝統を、



6日は、横浜の海上保安資料館、日本郵船歴史博物館、水川丸を訪問しました。日本が海に囲まれていることを感じてもらいました。

7日は、午前中に日枝神社を訪れ、連続する鳥居の不思議を実感。午後は東京天文台で4D2Uドームシアター(4次元宇宙をデジタルデータで可視化したもの)で現代日本の最新技術を堪能してもらいました。

8日は、上野の東京博物館、午後は横須賀の海洋研究開発機構を訪問、深海の不思議について学びました。その後



の後は新幹線に新横浜から品川まで、ほんの一区間でしたが乗りました。

9日午前中は、フリータイム、午後は、川崎の日本海洋科学で操船シミュレーターを体験しました。

最終日は、日本の団員数名が空港まで付き添い、帰国の途につきました。

### 団員感想文

#### 目白台団 近藤 和心

私は、今回の機会ではかえれない人に出会えて、良い思い出になり、嬉しかったです。なかでも、一番浅草草が日本の文化を海外の人が知れたのではないかと思います。

最終日のパーティーでは、プレゼント交換の時、出身国ならではの物があり、こういうのがあるんだと知ることができました。またこのような機会があったらぜひ参加したいと思いました。

#### 目白台団 鈴木 祥音

海外交流では、今まで体験できなかったことなど、とても良い経験ができました。またいつもとは少し違う感覚で生活し、自分にとっても新しい経験になりました。

今回のこの経験をこれから生活にも生かしていきたいと思えます。

#### 舞鶴団 定友 聖

この夏は特別でした。私は今回の国際交流を通して英語でコミュニケーションをとることの重要さや楽しさを知り、自分の言葉で会話が出来た時の喜びを初めて味わいました。

海外団の方々とはとても優しく、すぐに友達になれました。私も積極的に関わったことが良かったのだと思います。この経験を通して海外にたくさん友達が出来たことを誇りに思います。また、より良い交流をするために、もっと英語の知識を深めたいと感じました。

## 「第39回豊かな海づくり大会」あきた海洋少年団

あきた海洋少年団は9月7日、8日、天皇陛下御即位記念第39回全国豊かな海づくり大会あきた大会に参加し、



水色の羽根募金(公益財団法人漁船海難遺児育英会)と、海洋少年団活動紹介を式典会場の秋田県立武道館と、展示会場の「道の駅秋田港」で行いました。

天皇陛下と同じ式典会場への移動は主催者が用意したバスの移動でした。結団してから初めて、保護者の元を離れ、指導員と行動を共にした団員8名。秋田県内の警察が全て来ていたのかのような厳重な警備の中、バスの中で40分以上待機したことも良い経験です。

二日間真夏に戻ったような気温で、全てが初めての経験でしたが、団員は大きな声で募金をお願いし、頑張る姿に感激した方から直接お小遣いももらう団員も!?

ゲストのさかなクンと同じテントの中で募金活動をしたことも良い思い出になりました。集まった募金額は前年度を15%上回る結果となりました。保護者からも団員募集のチラシ、パンフレットを来場者に配ってもらい用意した300部が全て無くなる嬉しい結果となり、充実感に溢れた二日間でした。



めて味わいました。海外団の方々とはとても優しく、すぐに友達になれました。私も積極的に関わったことが良かったのだと思います。この経験を通して海外にたくさん友達が出来たことを誇りに思います。また、より良い交流をするために、もっと英語の知識を深めたいと感じました。

### 今月の主な記事

- 2面 チャレンジ事業、みどりの広場
- 3面 各団ニュース(宜野湾はごろも団、近畿地区連盟、南勢団、藤沢団) みどりの広場
- 4面 我ら海の子展受賞作品

# 2019年度チャレンジ事業



団活動の活性化、広報活動、地域との連携などを目的としたイベントを行いました。現在までに行った活動を紹介します。

- ①開催日 ②イベント名 ③活動内容 ④参加者数 ⑤成果等感想

## 浜田団

①7月23日 ②カヌー及びSUP教室 ③海浜清掃、カヌー、サップ体験、巡視船体験航海 ④カヌー・サップ指導者7名、団役員・保護者6名、団員12名、浜田海上保安部10名 ⑤曇り空でほど良い気候の中で、海上保安部職員による海水浴時の注意事項や救命胴衣の着け方の話の後に教室が始まりました。団員は、海や水辺の体験を通して、安全な行動、船の安全運航の大切さを体感、認識することができ、有意義で楽しい一日となりました。



## 熊本火の国団

①8月4日 ②小学生カヌー教室 ③カヌー体験 ④参加者27名 ⑤当日は天候にも恵まれ、計画通りにカヌー教室を行い、水に親しむことの楽しさとカヌーを操ることの楽しさを伝えることができました。また、小学生高学年・中学生の団員には指導補佐としての役割を付与し、基礎的なリーダーとしての資質の向上を図ることができました。開始の前後には、当団の活動状況の説明や海洋少年団活動について広報しました。



①9月8日 ②外国から来た子供達のカヌー教室 ③カヌー体験 ④参加者34名 ⑤NPO法人「外国から来た子どもたち支援ネットくまもと」の子どもたちと保護者及び関係者に対しカヌー教室を行いました。NPO法人の理事長からは「日頃ストレスを抱えている子供達が多く、自然の中で自由にカヌーを漕ぐことができ喜んでいました。」との感謝の言葉をいただきました。カヌー教室の大きな成果として、昨年実施したカヌー教室の参加者から2名が今年8月に当団に入団しました。



## 呉団

①8月3日～4日 ②呉団宿泊活動、初めてのカヌー体験等 ③水泳、カヌー、ウミホテル観察、所内ビンゴ研修、カプラ研修 ④指導者・保護者8名、団員18名 ⑤「国立江田島青少年交流の家」で、初めての1泊2日の野外研修を行いました。恵まれた施設を利用し、日頃出来ない体験を通じて、団員相互の融和と団結を図ることができ、有意義な夏休みの研修でした。



## 姫路団

①6月23日 ②親子カヌー教室 ③親子二人乗りカヌー体験、基本動作・手旗の披露 ④親子14組 ⑤カヌー教室では、団員の「ちかいとやくそく」の唱和で始まった途端、ざわついた会場が引き締まり、パドルの持ち方乗り方の注意事項も集中して聞いてもらえました。幸い天候にも恵まれ、さほど暑くもなく親子共に楽しんでもらえたと思います。



## 佐伯団

①8月18日 ②親子カヌー体験会 ③カヌー(二人乗りシーカヤック)体験、ロープワーク(飾り結び)体験、佐伯団の団紹介パネルの展示、参加記念品お手製オリジナル缶バッジの配布。④親子16組、41名 ⑤初めて連盟のチャレンジ事業を申請し、市報への掲載やFBなどで宣伝広報に努めた結果、天気にも恵まれ予想以上の参加者があり所期の目的を十分達成することができました。海洋少年団活動にも興味を持ってくれた親子も数組あり入団に繋がればと期待しています。来年度も同様のイベントを企画し海洋少年団広報活動及び新規団員の獲得に努めたいと思います。



①7月14日～15日 ②姫路港ふれあいフェスティバル ③バルーンアート、団活動の展示、ロープワーク教室、手旗の披露 ④多数 ⑤初日は土砂降り中止。2日目は暑すぎるほどの晴天で、用意したバルーンアートに大勢の小さな子やお年寄りが列を成しました。ステージでは手旗信号の原画を披露しました。秋にも姫路市担当で同イベントが実施されるので、小学生にアピールできる出し物を考えています。



## みどりの広場

### 「カッター合宿」

下関団 八木 美咲

8月17日から18日にかけて県連盟のカッター合宿がありました。カッターの練習や大会などあったけど、部活や私事で毎回行けませんでした。今回が初めての合宿で、どうやって乗るかこの道具はどう使うのか、ほとんどの事が全く分からなくて不安ばかりだったけれど、先生や先輩が優しく教えてくれたおかげで、だんだんできるようになっていきました。

初めてカッターを漕いだときはプレートの向きや力の入れ加減、体の動かし方がすごく難しく、一回することになると色んな所に気を配らなければいけなくて、いつも、そんなに頭を使わないのですごく疲れました。

今回のカッター合宿のおかげで色々なことを学べて少しは成長できました。それに他の団の人たちとも仲が深まった気がして充実した夏休みになりました。

### 「海王丸海洋教室に参加して」

中日団 山口 煌司

4月14日、名古屋港海洋教室に参加しました。色々な体験をした中で、印象に残っている事をかきます。

僕が、海王丸海洋教室で一番印象に残った事は、舵輪回しです。なぜなら風をうまくつかむように船の向きを微調整しなければいけなくて、舵輪が重たく回すのに大変だったからです。舵輪操作は、一人ではとても大変だと思いましたが、帆走している間、船員が舵輪をずっとやっていると、うと、かなりの腕の力が必要だと思いました。

次に体験したのは甲板磨きです。デッキは半分は切ったヤシの実を使って磨きました。磨いたのはほんの一部

ただですが、最後に印象に残ったのは、朝食です。僕はカレーを食べたのですが、船内体験をした後の朝食はとてもおいしかったです。毎日、食べるメニューは違って、栄養バランスの良いメニューで構成されています。今日の海王丸で食べたカレーは絶品だったと家族にも話しました。貴重な体験が出来て楽しかったです。

### 高野湾はごも団

#### ☆無人島めぐりらまビーチクリーン作戦☆

かつて200名を超える有人島が無人島になってから随分とたく



さんの時が経ちました。ふるさとが荒れ果てて忘れ去られていくことが耐えられず「前島復興住民の会」を立ち上げ、孤軍奮闘する中村文雄オジィを応援しよう、高野湾はごも団が企画した「無人島めぐりらま(渡嘉敷村字前島)ビーチクリーン作戦」を8月17日、18日、団員12名、指導員及びチームにんじゅボランティア総勢27名で炎天下で行い、1000袋を超える漂着ゴミを回収することが出来ました。

国定公園でもある前島は、その美しい自然環境を漂着ゴミが埋め尽くす惨憺たる状況であることは我々でなくとも見るに忍び難い思いをすることだと思えます。

しかし、今回の活動だけで全ての漂着ゴミが除かれた訳ではなく、また今後更に海外から漂着するであろうゴミをどう継続回収し、島の豊かな自然環境を守り、この島がかつての賑わいを取り戻すことが出来るのか課題は残されたままです。

回収したゴミを渡嘉敷本島のゴミ焼却施設まで移送していただいた渡嘉敷村教育長には大変お世話をおかけしました。ご協力いただいた「渡嘉敷の里山と海を守る会」ありがとうございました。ご協力いただきました「環境省慶良間自然保護事務所」、「前島郷友会」にこの場をお借りして深くお礼申し上げます。

海洋国家日本の次世代を生きる子供達が今回の海洋活動を通して「海に親しみ」「海に学び」「海にきたえ」そして「美しい海を守る」という当初の目的を果たすことが出来たことをここに報告申し上げます。(高野湾はごも団 有村博勝)

### 藤沢団

#### ☆市民まつりで募金活動☆

9月28日、29日の2日間にあつた、今年も恒例の藤沢市民まつりが藤沢駅周辺と市民会館、遊行寺、秋葉台体育館等を使って開催されました。市民活動団体、市内企業、友好都市、公共機関から多くの出店がありました。藤沢市は来年のオリンピックのセーリング会場にもなっています。



藤沢団は、藤沢駅内の南北自由通路の一角にブースをいただき、青い羽根募金と少年団の広報活動をしました。団員たちは4班に分かれ各班交代で募金活

### 近畿地区連盟

#### ☆近畿3団合同訓練☆

10月5日、6日に国立淡路青少年交流の家にて神戸団、大阪みなと団、姫路団の3団で合同訓練を実施いたしました。大変大きな施設で他にも200人以上の団体が宿泊しており、「朝の集い、夕べ

の集い」では全部の利用者が集まり交流を深めます。職員もきびきびと明るく食事も美味しく、全てバイキング方式なのでつい食べ過ぎてしまいました。

入所した後、班分け。3団混合で30人を4班に編成。部屋割りをきめて、屋内でのオリエンテーリング。広くて階段も多いので迷子になりそうです。1時間かけても全てのマークをクリアできない班がありました。その後グランドで基本動作と手旗の練習。きれいな丸

い小石を探しながらビーチの散策。ベッドメイキング、夕食。眼下に美しい海岸線と夕日の海の向こうは四国、徳島が見えます。入浴の後には研修室でカードゲームを楽しみました。

6時半起床、朝の集いで国旗掲揚、ラジオ体操、伝達。朝食後に体育館で手旗の送受信。昼食後は早くもチェックアウト、あつと言う

した。南勢中学校では手旗とロープワークの体験をしました。最初に団員が手旗で「ヨ・ウ・コ・ソ・ミ・ナ・ミ・イ・セ・エ」と送信し、原画や自分の名前を打つ練習をし、最後には名前がうてるようになりました。みんな満足して体験活動を終えました。最後に児童生徒代表から心温まるお礼の言葉をいただきました。

### 南勢団

#### ☆楽しかった交流会☆

去る8月21日、22日、いなべ市放課後子ども教室「ほくせい」から児童生徒、所員等60名が南勢勢町を訪れ、志摩ヨットハーバーでカヌー、カッター、体験航海の3班に分かれ海洋少年団と交流をしました。30数年前の南勢町や北勢町時代に県の南と北の交流をやったことがありました。

海のない、いなべ市の子どもたちは大喜びで、これらの活動にチャレンジしました。いなべ市の近くの四日市団からも指導員が来てくれて指導に当たってくれました。はじめは漕げなかったカッターもオールがだんだんそろって漕げるまでになりました。



間の素晴らしさ2日間でした。(近畿地区連盟会長 福谷光二)

### みどりの広場

#### 「自どう車うんぱんせんの見学」

目白台団 すずき まほ

7月21日日曜日に、海洋少年団で、自どう車うんぱんせんの見学に行きました。

わたしは見学と言われていたので、そこから見ただけかとおもっていたら、中まで入れました。

#### 「自動車運搬船見学」

目白台団 小林 蒼梧

私は自動車運搬船見学では様々なものを見学したが、特に印象に残っているものが二つある。

一つ目はデッキに防弾チョッキがあったこと、二つ目は機関室に入れたことである。

#### 「初めての全国大会」

中日団 山田 有紗

名古屋を朝に出発して、とよはし団と東京へ行きました。バスの中ではさくさくのれんしゅうをしました。夜に東京につきました。やきそばを食べました。お

#### 「カッター合宿」

下関団 三戸 春樹

今回、高等三級最上級生として合宿に参加し、下級生をまとめる大変さと使命感を覚え日頃ない経験が出来ました。

下関団では日頃出来ないカッター訓練を泊まりでしました。そこで見つけた課題を自分の満足するまで練習で

りました。おなじ団のおねえさんと、「なにむすびかな。」と話しながら見えていたけれど、わからなくて、せんいんさんに聞くと、「これは、右と左のロープが、ひとえつなぎ、まん中のロープは、もやいむすびだよ。」言われました。わたしは、全国大会が近づいているので、いいぶん強くなったとおもいました。

また、機関室は南方に行くとき50度を超える暑い場所です。音も大きく、暑い場所です。船員といえれば航海士の方が大体の人に思いますが、浮かぶらうけど、機関士の存在も忘れてはいけません。

は、きんちょうしたけれど、後からなれてきました。十しゅもくぜんぶできました。うれしかったです。帰りに、まんでんバッジを二つももらいました。手ばたとロープワークをがんばってれんしゅうしてよかったです。

でしようので合図とズレること余計にきつかったです。これから艇長や、艇指揮などいろいろな事にチャレンジします。今年、海洋少年団員として最後の年なので、今回のカッター合宿を本気で取り組むことができました。来年からはOBとして、指導する事が出来れば良いなと思えました。

# 第 47 回 絵画コンクール

# 我ら海の子展

## 受賞作品

☆今後の展示会予定☆

- ① 10月12日～11月 9日 「アクアマリンふくしま」(福島県)
- ② 12月 7日～ 1月 5日 「海の科学館」(香川県)
- ③ 1月25日～ 2月24日 「日本郵船水川丸」(神奈川県)

### 国土交通大臣賞 中学生の部

国土交通大臣 石井 啓一

縄のたるみがとてもよく描けており、動きを感じます。朝日が美しく描かれており、逆光を意識した影の表現も魅力があります。



「朝日と共に」  
佐藤 星羅 (中2) 愛媛県

### 国土交通大臣賞 小学生高学年の部

国土交通大臣 石井 啓一

人工物である立体的な船と自然物である雲の表現が秀逸です。全体的に色彩がバランスよく描けています。



「トビウオの群れに見送られる保安船」  
松村 華乃音 (小6) 東京都

### 国土交通大臣賞 小学生低学年以下の部

国土交通大臣 石井 啓一

とても元気のいい色づかいで、インパクトのある絵です。ミソがたくさん入っているようで、とても美味しそうに描けています。



「カニ だいすき!」  
黒田 泰史 (年長) 東京都

### 日本海洋少年団連盟会長賞

公益社団法人日本海洋少年団連盟 会長 宮原 耕治



「ソラスメダイとカクレマンノミを見つけたよ」  
千葉 あみ (小3) 群馬県

色使いがとても綺麗で、丁寧に魚が描かれている。正面の上を向いているカクレマンノミが非常に可愛らしいです。

### サークルクラブ協会理事長賞

一般財団法人サークルクラブ協会 理事長 鈴木 雅子

フジツボのついた古い家から、大きめの新居にお引越し。めったに見れない瞬間の、ヤドカリの生態がよく描けています。



「やどかりのお引越し」  
岩本 聡太 (小4) 山口県

### 日本船主協会会長賞

一般社団法人日本船主協会 会長 内藤 忠顕

黒のインパクトが非常に印象的。黒のベースの中に描かれている光のコントラストが素晴らしく、輝いているぞ! という感じが良く出ています。



「海の光」  
白石 七海 (中2) 愛媛県

### 近藤記念海事財団理事長賞

一般財団法人近藤記念海事財団 理事長 兼坂 政樹

子供らしいとても可愛い絵です。なんとと言っても、色使いが非常に素晴らしいので選ばせて頂きました。



「カラフルなうみ」  
古川 由喜 (年長) 長崎県

### 山縣記念財団理事長賞

一般財団法人山縣記念財団 理事長 郷古 達也

船、魚、海、そして家族がみんなで仲良くしたいという気持ちが良く伝わり海への愛が満ち溢れた作品だと思います。



「キラキラうみとわたしとファミリーとおもたち」  
藤縄 はるる (年長) 広島県

### グリーンクロスジャパン理事長賞

一般財団法人グリーンクロスジャパン 理事長 岩崎 照皇

ハタの独特な体の模様が細かく描かれていて素晴らしい。ふてふてしく、堂々とした姿に惹かれました。



「どうどうとおよぐハタのむれ」  
萩原 竜誠 (小3) 群馬県

### 安倍昭恵賞



「姫」  
山田 美桜 (中3) 埼玉県

各地の水族館のクラゲを彷彿とさせる美しい作品。クラゲと渦と「姫」というタイトルの不思議さに惹かれ選ばせていただきました。

### さかなクン賞



「海のふしぎさ」  
菅野 灯 (年長) 山形県

ギョギョッとびっくりな海の世界!! 色々な海の生き物の様子がものすっぎょ〜くギョ〜縮 (凝縮) されて、この世界に引き込まれます!!

### 河井ハツ子賞



「楽しい! アンダーザ・シー」  
島林 佐和 (小4) 東京都

少しぼやけた感じの柔らかい線が、海中の雰囲気をうまく出しています。クジラの紫と海の藍色がとても綺麗です。

### 榎木孝明賞



「クジラにのって」  
村部 麻里子 (小2) 徳島県

クジラに乗るとい夢に溢れた作品。自由な発想に心がほっこりします。